

留学体験レポート

国際学部 2年 信田 和範

1. はじめに、

ここでは、自分がなぜ約4か月間の海外研修に参加したのかを書きたいと思います。大きく3つの思いがありました。1つ、英語力を上達させたい。2つ、自分が知らない価値観や習慣に触れたい。3つ、何か新しいことに挑戦してみたい。これらの思いを胸に海外研修に参加しました。

2. キャンパス内について。

緑が多いキャンパスでした。留学中、天候に恵まれ、新潟と比べると雨は少なく、過ごしやすい環境でした。秋にはきれいな紅葉を見ることもできました。図書館や食堂の前の景色はきれいで、キャンパス内でお気に入りの場所でした。



3. アメリカに降り立った時の思い。

アメリカに降り立った時、様々な感情が沸き上がりました。空港内の電光掲示板は英語、耳に入る言語の多くは英語、明らかに日本ではない場所にいるのだと感じ、一瞬、不安な感情を抱きました。しかし同時に、長いフライトを終えてついに留学先のアメリカに降り立ったのだと思うと、心が躍りました。

4. 留学生活

留学生活は初めて尽くしの暮らしでした。寮生活も、親元を離れて約4か月生活するこ

とも、初めての経験でした。留学のはじめは、様々なことに慣れるのに大変でした。洗濯物を手早く畳んだり、授業で出された課題をてきぱき終わらせたりするのが難しく、もどかしく感じたことを覚えています。失敗も多々ありました。

5. 約4か月間過ごしたクラスについて。

初めてクラスルームに入ったとき、とても緊張しました。どんなクラスメイトがいるのだろうか、打ち解けることが出来るだろうか、という不安が頭をよぎりました。初めは緊張したものの、クラスメイトが温かく接してくれたおかげで、必要以上に緊張することはなくなりました。

クラスメイトには、韓国、中国、パキスタンなど、様々な国からの留学生がいました。自分達の事や母国の事、アメリカでの暮らしなどを英語で話し合いました。様々な国の留学生と英語を介して交流し、お互いの情報をやり取りした経験は、意義深いものでした。一つの教室でともに過ごしたあの時間が、今では懐かしいです。教室の中に、それまで経験した事がないような大きい世界が広がっていた気がします。自分の拙い英語に耳を傾けてくれた先生方やクラスメイトのおかげで、充実した語学研修を送ることが出来ました。

6. 終わりに

留学を通して様々なことを経験し、学ぶことが出来ました。約4か月間の留学は、終わってみればあっという間だった気がします。そこで過ごした日々は忘れがたいほど楽しかったです。又、今回の留学で、自分が克服すべき課題も見つけることができ、今後それらを改善していくのが今の自分の目標です。